

平成25年度 沖縄県相談支援部会の取り組み

吉本多佳子(沖縄県立中部病院)

樋口美智子(那覇市立病院)

大久保礼子(琉球大学医学部附属病院)

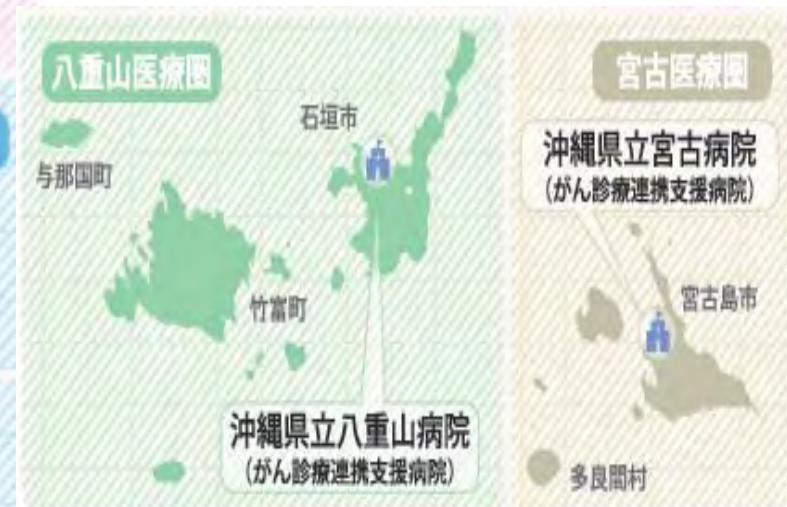


沖縄県 人口約140万人

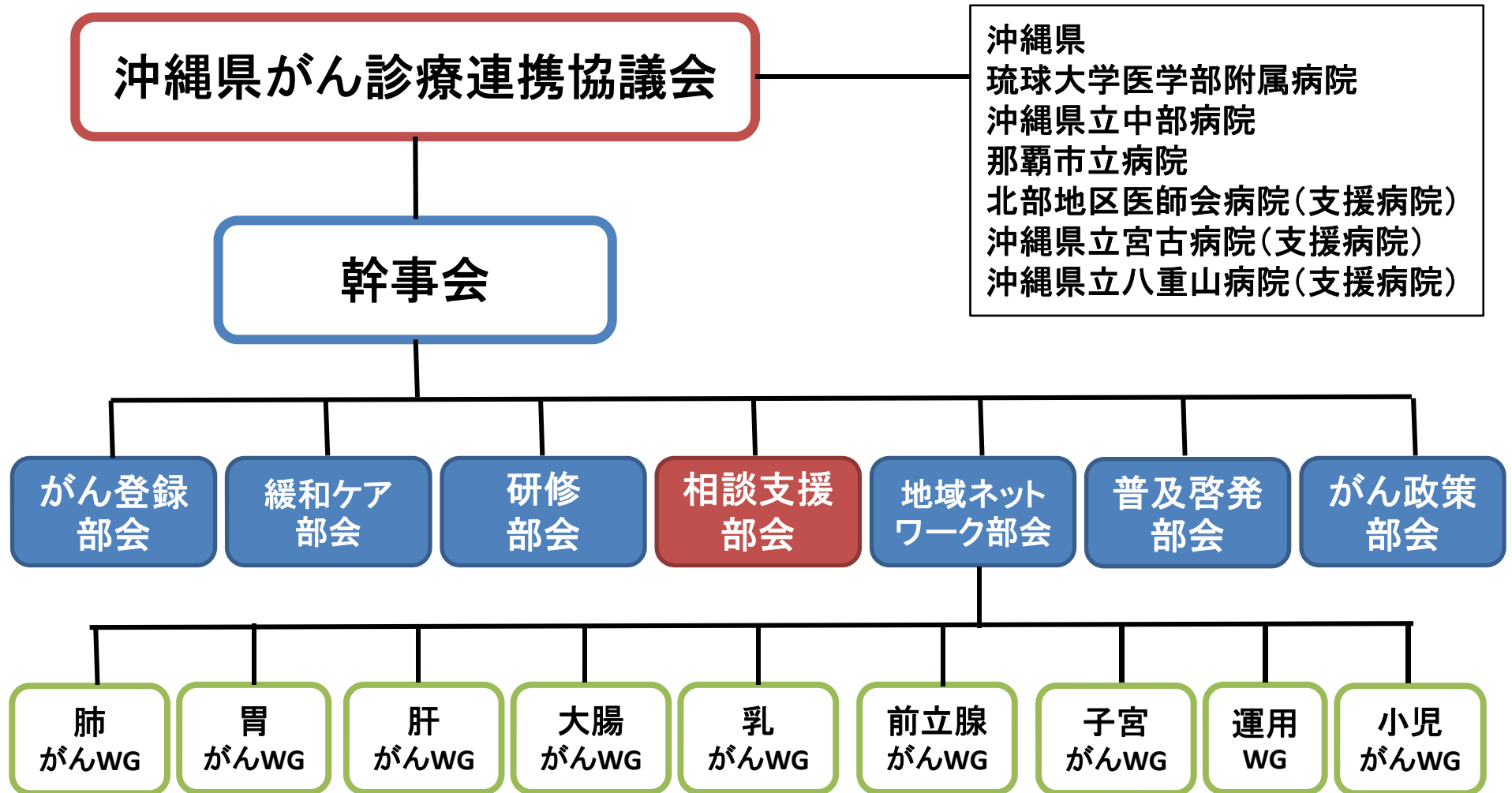
🏠 (国指定) がん診療連携拠点病院: 1病院

🏡 (国指定) 地域がん診療連携拠点病院: 2病院

🏢 (県指定) がん診療連携支援病院: 3病院



沖縄県がん診療連携協議会組織図



沖縄県がん診療連携協議会 相談支援部会 委員

1	那覇市立病院総合相談センター長 :MSW ◎
2	ハートライフ病院地域医療連携室 :MSW ○
3	琉球大学医学部附属病院医療福祉支援センター :MSW ○
4	沖縄県立中部病院 :看護師
5	沖縄県地域統括相談支援センター :ピアサポーター
6	居宅介護支援事業所なかがみ :介護支援専門員
7	北部地区医師会病院 :MSW
8	沖縄県立八重山病院地域連携室 :看護師
9	沖縄県立宮古病院地域連携室 :看護師
10	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター :MSW
11	琉球大学医学部附属病院がんセンター :MSW
12	同上 :事務職
13	同上 :医師(がんセンター長)
14	沖縄県医務課医療対策班 :主査 ★MLのみ参加

平成25年度 相談支援部会 活動計画 概要

<p>全体目標</p>	<p>がんによる死亡者の減少 (75歳未満の年齢調整死亡率の20%減少)</p>	<p>すべてのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上</p>	<p>がんになっても安心して暮らせる社会の構築</p>								
<p>部会が担当する分野の課題と目標</p>	<p>【目標】がん患者さんやその家族ががん相談を希望すれば、いつでもどこでも質の高いがん情報の提供や相談が受けられ、よりよい治療法及び療養場所を選択することができる。</p> <p>中期目標: 2015年3月までに県民の50%が相談窓口を知っていて、その8割ががんの悩みを解決でき、相談窓口での対応に満足している。 指 標: ①相談窓口認知度、②患者満足度 測定方法: 患者満足度調査、拠点・支援病院がん相談件数の合算、分析</p> <p>最終目標: 2018年3月までに県民の80%が相談窓口を知っていてその8割ががんの悩みを解決でき、質の揃ったがん相談員が拠点病院、支援病院に配置されている。 指 標: ①相談窓口認知度、②患者満足度 測定方法: 患者満足度調査、拠点・支援病院がん相談件数の合算、分析</p>										
<p>施策毎のアウトカム目標</p>	<p>【アウトカム1】 2015年3月までに県民全体の50%が相談できる場を知っていて、希望した時にいつでも利用できる。</p>	<p>【アウトカム2】 相談員間で質の揃った対応が可能となり、その地域に不足している資源や課題が明らかになる。</p>	<p>【アウトカム3】 インフォームド・コンセントが行われる体制と、患者自らが治療内容や治療法を確認し選択できる環境が整備される。</p>	<p>【アウトカム4】 拠点病院・支援病院に相談員が適切に配置される。</p>							
<p>施策毎のアウトプット目標</p>	<p>【アウトプット1】 2013年9月までにがんに関連する施設等を通じて2万部配布する。2013年12月までに評価を実施し、冊子の更新を検討する。</p>	<p>【アウトプット2】 2014年3月までに拠点病院共催で相談支援センターの広報活動を1回実施する。</p>	<p>【アウトプット3】 ピアサポーター等と連携し、小児がんサバイバーのネットワークづくりを支援する。</p>	<p>【アウトプット4】 2013年9月までに予備調査(認知度)を終了する。2014年3月までに100人を対象とした本調査を実施する。</p>	<p>【アウトプット5】 2014年3月までに支援病院で相談シートを導入し、拠点・支援病院共通のがん相談集計シートを導入する。</p>	<p>【アウトプット6】 2014年3月までに各拠点病院主催で年3回実施し、100人の実務者が参加する。</p>	<p>【アウトプット7】 2013年9月までに沖縄県版のマニュアル作成する。2014年3月までにマニュアルについての研修会を開催し、拠点病院で利用を開始する。</p>	<p>【アウトプット8】 毎年演題を出し、部会委員が発表する。また、学会にて最新の情報を収集する。</p>	<p>【アウトプット9】 2013年9月までにチェックリストに関する評価アンケートを実施し、分析する。</p>	<p>【アウトプット10】 毎年セカンドオピニオンリストを更新し、協議会ホームページへ掲載する。</p>	<p>【アウトプット11】 2013年5月までに沖縄県へ配置についての要望書を提出し、支援病院へ実務者研修の参加を促す。</p>
<p>施策アクションプラン</p>	<p>【施策1】 患者必携「地域の療養情」第3版を作成後の調査と今後の対策を行う。</p>	<p>【施策2】 相談支援センターに関するチラシ配布やラジオ番組の参加等、広報活動を行う。</p>	<p>【施策3】 働く世代や小児がん患者への支援の充実を図る。</p>	<p>【施策4】 患者家族満足度調査実施し、分析結果の公開と、相談支援に活用する。</p>	<p>【施策5】 相談内容の分析を行い、部会計画の改定等へ活用する。</p>	<p>【施策6】 がん相談員を対象とした研修会(地域の療養情報の配布方法を含む)を企画・開催する。</p>	<p>【施策7】 沖縄県がん相談支援センター相談マニュアル(小児がん対応用)を作成する</p>	<p>【施策8】 相談支援部会の活動実績を学会等で報告する。</p>	<p>【施策9】 2012年度に作成した周知用チェックリスト(下敷タイプ)の活用を促し、評価を行う。</p>	<p>【施策10】 2013年9月までに県内のがん診療を行っている病院のセカンドオピニオンリストを作成する。</p>	<p>【施策11】 沖縄県へ相談員の適正配置を要望し、相談員の実務者研修参加を増加させる。</p>
<p>導き出された対策項目</p>	<p>【対策項目1】 相談窓口の機能、役割についての情報を患者、市民に知らせる</p>		<p>【対策項目2】 相談支援の充実と質の向上</p>				<p>【対策項目3】 運営資源の充実化</p>				

施策1 「地域の療養情報」作成と配布の検討

地域の療養情報 おきなわがんサポートハンドブックの作成(改訂・更新)と評価をする。

制作・配布

アンケート

更新・制作

【必ず必読】地域の療養情報 おきなわがんサポートハンドブック | 第3版

もう、持っていますか?

がん患者さんのためにつくられた
ハンドブックがあるんです。

がんのことに
ついて知りたい
あなたが欲しい情報を探すお
手伝いをする「がん相談支
援センター」の連絡先一覧を掲載
しています。診断や治療に
ついてもっと知りたいとき、
ぜひお役立て下さい。

医療費に
ついて知りたい
がんによる医療費の負担を軽く
する仕組みや支援制度、窓口
についてわかりやすく紹介して
います。

院内で
無料配布
しています!
(ご希望の方)

おきなわ
がんサポート
ハンドブック

院内で無料配布しています!

問診病気の人の
話をきいてみたい
RDアツキP30へ

治療しながら仕事できる?
RDアツキP27へ

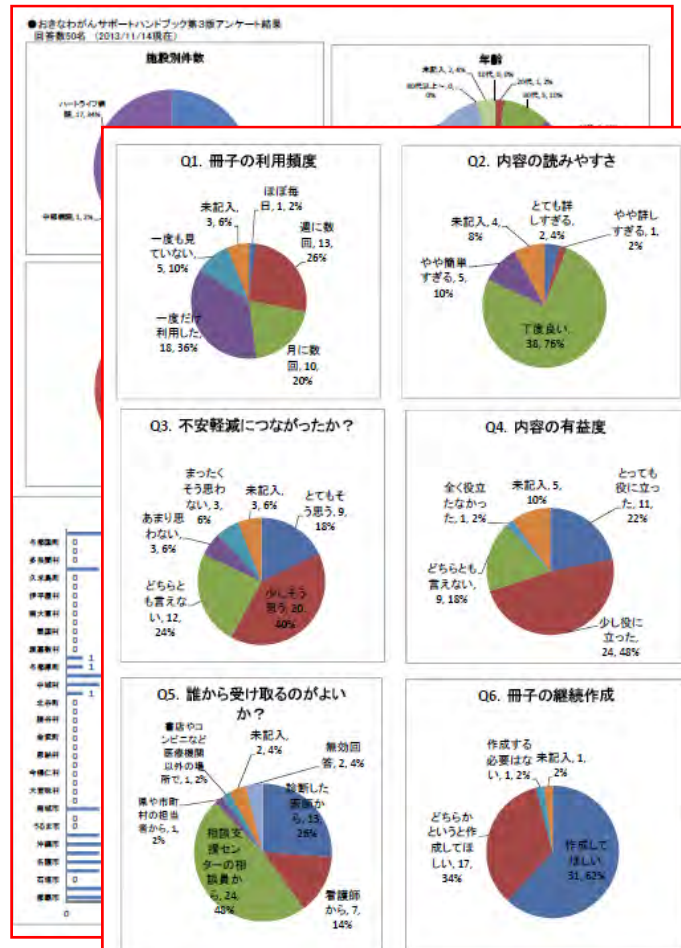
小子ども、がんの
療養中なのですが、
お子さんの療養を支える施設
や支援窓口を紹介しています。
また、長く続く療養生活に役立
つ子ども向けの制度や助成
も紹介しています。

セカンドオピニオン
について知りたい
RDアツキP22へ

※この冊子は「沖縄県がん診療連携協議会」より
ダウンロードも可能です。(http://www.okinawa.jp)

★冊子をご希望の方は、2Fシエント
または3Fがんセンターまで。

〈お問合せ〉 琉球大学医学部附属病院 がんセンター ☎ 098-895-1368



施策1 「地域の療養情報」作成と配布の検討

地域の療養情報「おきなわがんサポートハンドブック」普及と活用のため、各病院で説明会を開催した。

	説明会実施医療機関	担当部会委員	実施日
済	琉球大学医学部附属病院〈県拠点病院〉	増田・大久保	6/3(月)医局長会議 6/3(月)リンクナース委員会 6/19(月)看護師長会議 6/24~7月末 医局会議(14診療科)
済	沖縄県立中部病院 〈地域拠点病院〉	吉本	8/7(水)15:00~緩和ケア委員会 8/8(木)7:30~医局会議
済	那覇市立病院 〈地域拠点病院〉	樋口	6/3(月)17:30~
済	沖縄県立宮古病院 〈支援病院〉	増田・大久保	10/1(火)17:15~18:00
済	沖縄県立八重山病院 〈支援病院〉	増田・大久保	8/23(金)17:15~18:00
済	北部地区医師会病院 〈支援病院〉	吉本	9/17(火)16:30~17:00
済	社会医療法人敬愛会 中頭病院・ ちばなクリニック	吉本	10/4(金)16:30~17:00
	中部徳洲会病院	吉本	10月下旬頃
済	沖縄赤十字病院	増田・大久保	7/9(火)18:00~18:30
済	社会医療法人仁愛会 浦添総合病院	樋口	8/13(火)18:00~
済	社会医療法人かりゆし ハートライフ病院	望月	8/15(木)17:30~ 医局会議
済	沖縄病院	沖縄病院	5/16(木)緩和ケアチーム委員会 5/28(火)医局会 6/10(月)看護師長会議
	沖縄県立南部医療センター・ こども医療センター	永吉	調整中
	社会医療法人友愛会 豊見城中央病院	増田・大久保	調整中
×	南部徳洲会病院	増田・大久保	先方の都合により開催せず。
済	那覇西クリニック・ 那覇西クリニックまかび	樋口	8/26(月)17:30~18:00
済	宮良クリニック	樋口	8/3(土)
済	Dr久高のマンマ家クリニック	樋口	7/3(水)13:30~14:00



施策2 相談支援センターの広報活動

がん検診啓発ラジオ番組への出演し、相談支援センターとハンドブックの広報をした。

番組名：「チャットステーションL」

テーマ：「受けよう！ウチナ～！がん検診」

出演者：

ラジオパーソナリティ

宮良クリニック院長（乳腺外科医師）

相談支援部会委員2名

・吉本 多佳子（県立中部病院 看護師）

・石郷岡 美穂（琉球大学医学部附属病院
医療福祉支援センターMSW）



※ラジオ番組の企画・運営は、普及啓発部会

施策3 ピアサポーターとの連携、サバイバーのネットワーク支援

ピアサロンやピアサポート研修会に部会委員がファシリテーターとして参加した。

平成25年度 沖縄県地域統括相談支援センター主催
がんピアサポート 研修会
 ～これからのピアサポートをはじめよう～

企画主旨

このたびは、沖縄県地域統括相談支援センターでは、がん患者さんやご家族を対象に「ピアサポート」に関わる基本的なスキルを身に付けていただくことを目的に「がんピアサポート研修会～これからのピアサポートをはじめよう～」を開催いたします。今まで患者会などでピアサポート活動されてきた方も、これから始めたい方も、ぜひこの機会にじっくりピアサポートについて勉強していただきます。 ※がんに関する相談は必ず専門科でおこなってください。

募集要項

- 対象＝がん患者・がん患者のご家族で研修会に2日間ともに参加できる方
 ※最終治療後2年以上が経過して、現在病状が安定されているがん患者およびがん患者のご家族
 ※過去に当センター主催の研修会に参加したことのある方も参加することができます。ピアサポートは基本を繰り返し学びながら、ご自身の対応を見つめ直し、実際に役立てることが出来ます。
- 定員＝30名（定員に達し次第締め切ります）
- 受講料＝無料
- 申込方法＝要項申込書（沖縄県がん診療連携協議会サイトからダウンロード。または主催者へ問い合わせ）に必要事項を記入の上メール、郵送、FAX、または当センターへ直接ご持参下さい。 (<http://www.okican.jp>)
- 応募期間＝9月1日（日）～9月30日（月）必着

研修開催日曜（計2日間）

1日目：平成25年10月13日（日）10:30～17:00（10:00受付開始）

2日目：平成25年10月14日（月・祝）9:00～16:00（9:30受付開始）

会場

沖縄県医師会館 〒901-1105 南風原町字新川218-9 ※地図は裏面に記載いたします。

主催：沖縄県地域統括相談支援センター
 共催：琉球大学医学部附属病院がんセンター
 後援：沖縄県福祉協議会、沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会、沖縄県臨床心理士会

☎ 098-942-3407（直通） 098-895-3331（代表）（内線4358/4359）
 fax 098-942-3408 e-mail to:katsu@jim.u-ryukyuu.ac.jp
 URL：（がんセンター） <http://www.ryukyucc.jp>（沖縄県がん診療連携協議会） <http://www.okican.jp>

沖縄県地域統括相談支援センター主催
 後援：琉球大学医学部附属病院がんセンター、沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会、沖縄県臨床心理士会

がんと共に生きる患者さんたちが語り合う場所
第3回 「がんピアサロン」を開催します。

がんに苦しみ、不安を感じて生活される方やそのご家族が集う場として「がんピアサロン」を開催します。
 同じような立場の人による支援は気持ちの共有や現実的なアドバイスができるなど様々なプラスの面があります。
 「誰に相談していいかわからない」、「頭の中が真っ白・・・」、「家族が泣いて、どう接したらいいかわからない」、「同じ病気の人と話がしたい」そんな悩みを話し合う交流会です。
 「がんピアサポーター基礎講座修了者」が対応します。この機会にどうぞお気軽にお越しください。 ※診断や治療について判断するところではありません。

※がんピアサポートとは 「ピア」とは仲間の意味で「サポート」は支える・支援することをいいます。同じがんを経験した仲間同士で支え合い、気持ちを共有し、共に問題解決の糸口を探します。

開催概要

- 開催日時 平成25年5月20日（月）～24日（金）14:00～16:00
 ※お好きな日にち・時間にお越しください。
- 場所 沖縄県庁 1階 県民ホール
- 対象 がん患者さんやその家族・遺族、または医療関係者など、特に限定はしていませんのでご自由にご参加下さい。
 関心のある方ならどなたでもご参加いただけます。
 ※途中からの参加・退席は自由です。お気軽にお立ち寄りください。
- 参加費 無料・申込不要
- 参加に際しての留意事項
 - サロンの中での話は他では話さない
 - 宗教や政治活動は行わない
 - 特定の治療やサプリメントなどをすすめない

お問合せ先： 沖縄県地域統括相談支援センター
 琉球大学医学部附属病院内
 ☎：（直通）098-942-3407（代表）098-895-3331（内線4358/4359）
 fax：098-942-3408 e-mail：to:katsu@jim.u-ryukyuu.ac.jp
 URL：（がんセンター） <http://www.ryukyucc.jp>（沖縄県がん診療連携協議会） <http://www.okican.jp>

施策5 「共通相談シート」の運用と相談内容の分析

各拠点病院で対応したがん相談を統一した項目分類で集計、部会で定期報告し、がん相談の傾向を共有している。

- 平成21年4月 試行版での運用を開始
- 平成24年4月 運用するにつれ各病院間でバラつきがでてきていたため、具体的な運用方法とシート内の項目や定義を見直し。
- 平成25年10月 完成版(統一版)を作成、運用を開始。

施策6 がん相談員向け研修企画・運営

- ・各拠点病院を中心に、がん相談員実務者研修会を計3回開催した。
- ・部会委員でテーマや内容を検討し、各病院で1回ずつ主催している。

平成25年度
第1回 沖縄県がん診療相談支援員実務者研修会

「がん治療」の今

"今がん治療はどこまで進んでいるのか、どう捉えて支援すれば良いか"

講師 朝倉 義崇
沖縄赤十字病院 第三内科副部長 血液内科

日時 平成25年9月5日(木)
18:00~19:30

場所 沖縄県立中部病院
南病棟3階 会議室

対象 MSW・看護師・その他がんに携わる医療従事者

**申込み不要
参加費無料**

第2回 地域がん診療拠点病院講演会
主催 沖縄県立中部病院 がん診療委員会
共催 沖縄県がん診療連携協議会・相談支援部会
琉球大学医学部附属病院、那覇市立病院
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

お問い合わせ
沖縄県立中部病院 地域医療連携室・医療相談支援センター
☎ 098-973-4111 (内線 3232) FAX 098-982-68
担当 東/新

～2人にひとりのがんになる時代・ふたりにひとりのがん相談員～
平成25年度 第2回 沖縄県がん相談支援員実務者研修会

がん化学療法と患者支援
～「今さら聞けない」を「そうだったのか」に～

がんに対する治療法の柱の一つ、「化学療法」。
抗がん剤治療中の患者さんからの相談、受けていませんか？
「なぜ髪が抜けるの？」
「ウィッグはいつ頃準備した方がいい？」
「薬の量で治療費はどの程度変わるの？」
「そもそも、レジメンってなに？」 などなど。
相談員さん、意外と知らないこと、ありませんか？



化学療法の医学的基礎知識、患者さんの抱える困難や不安について理解を深め、相談員に必要な視点を学びましょう！

講師： 里見 雄次 氏
(琉球大学医学部附属病院 がん化学療法看護 認定看護師)
対象：MSW・看護師・その他がんに携わる医療従事者
日時：平成25年10月25日(金) 18:00～19:30
場所：琉球大学医学部附属病院機能画像診断センター(FIMACC)4
裏面の地図をご参照ください

※駐車場は立体駐車場、もしくは外来駐車場をご利用ください。
外来駐車場に駐車された際には、駐車券をご持参下さい(無料駐車券をお渡しします)

主催：琉球大学医学部附属病院
沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会
共催：沖縄県立中部病院、那覇市立病院、
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

※お問い合わせ先：琉大病院がんセンター 098-895-1368(直通)

平成25年度 第3回沖縄県がん相談支援員実務者研修会

「がん放射線療法と患者支援」

開催日時 平成25年12月11日(水)
18:00～20:30

研修会場 那覇市立病院 3階講堂

対象 医療ソーシャルワーカー、看護師、他医療従事者

参加費 無料 申込 不要

●放射線は、単独で、あるいは他の治療法と組み合わせることで、多くの種類のがんを治療することができます。
そして、今、最も関心を集めているのが放射線療法です。
沖縄にも「重粒子線治療施設」が挙げれば3年後にできるかもしれません！
●患者さんの意志決定に役立つ情報とケアの実践を学び、患者さんの抱える困難や不安について理解を深め、相談支援やケアに必要な視点や技術を学びましょう。
●治療室の見学や、相談支援やケアをする上での困りごと等の情報交換も行います。

足立先生、放射線治療を
しましよつと言われて
心配です...

佐藤さん... やっぱり髪
抜けるんですね？

放射線治療は、
何百万円もかか
るのでしょうか？

講師 足立 源樹氏 (那覇市立病院 放射線科医師)
佐藤 廣子氏 (那覇市立病院 看護師)

主催：地域がん診療連携拠点病院 那覇市立病院
沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会
共催：沖縄県立中部病院、琉球大学医学部附属病院、
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

お問い合わせ先
地域がん診療連携拠点病院 那覇市立病院
がん診療連携室 上里
TEL: 098-884-5111 (内線 283)
E-mail: ca-link@nch.naha.okinawa.jp

施策11 相談員の適正配置と実務者研修参加者の増加

- ・平成24年3月、沖縄県知事へ相談員の適正配置の要望書を提出した。
- ・がん相談員ネットワークリストの整備

■がん相談支援員実務者ネットワーク

- ・活動目的 : メーリングリストによる情報交換、研修会・研究会・講演会等の企画・運営・参加
- ・活動日 : がん相談支援員実務者研修会、県MSW定例研修会、その他必要時
- ・活動内容 :
 - ①がん相談・緩和ケア等の相談支援業務に必要な基本的な知識・技術を習得する
(講義、DVD視聴、演習等を行う)
 - ②がん相談支援・緩和ケア等の質的向上を図るための調査・研究を行う
 - ③実務者同士の情報交換と親睦を図る
- ・登録医療機関 : がん診療を行う医療機関 計 18 施設
県拠点病院(1施設)、地域拠点病院(2施設)、支援病院(3施設)、
がん専門医療機関(10施設)、ホスピス(2施設)

施策4 患者家族満足度調査の実施と分析結果の公開、相談支援への活用

満足度調査の予備的調査として、認知度調査を計画。
調査票の作成、調査対象や実施場所等の設定など検討中。

施策7 「相談支援センターマニュアル(小児がん対応)」の作成

症例数が少ない小児がんに関する相談へも対応できるよう、小児担当MSW中心にマニュアルを制作。作業部会を3回開催、今年度中に完成予定。

施策8 学会等で相談支援部会活動実績の報告、最新情報の収集

平成25年は沖縄県の共通相談シートの運用について社会福祉士学会で報告した。

施策9 「チェックリスト(下敷タイプ)」の活用促進と評価。

アンケート調査を行う予定であったが、評価表など検討段階。



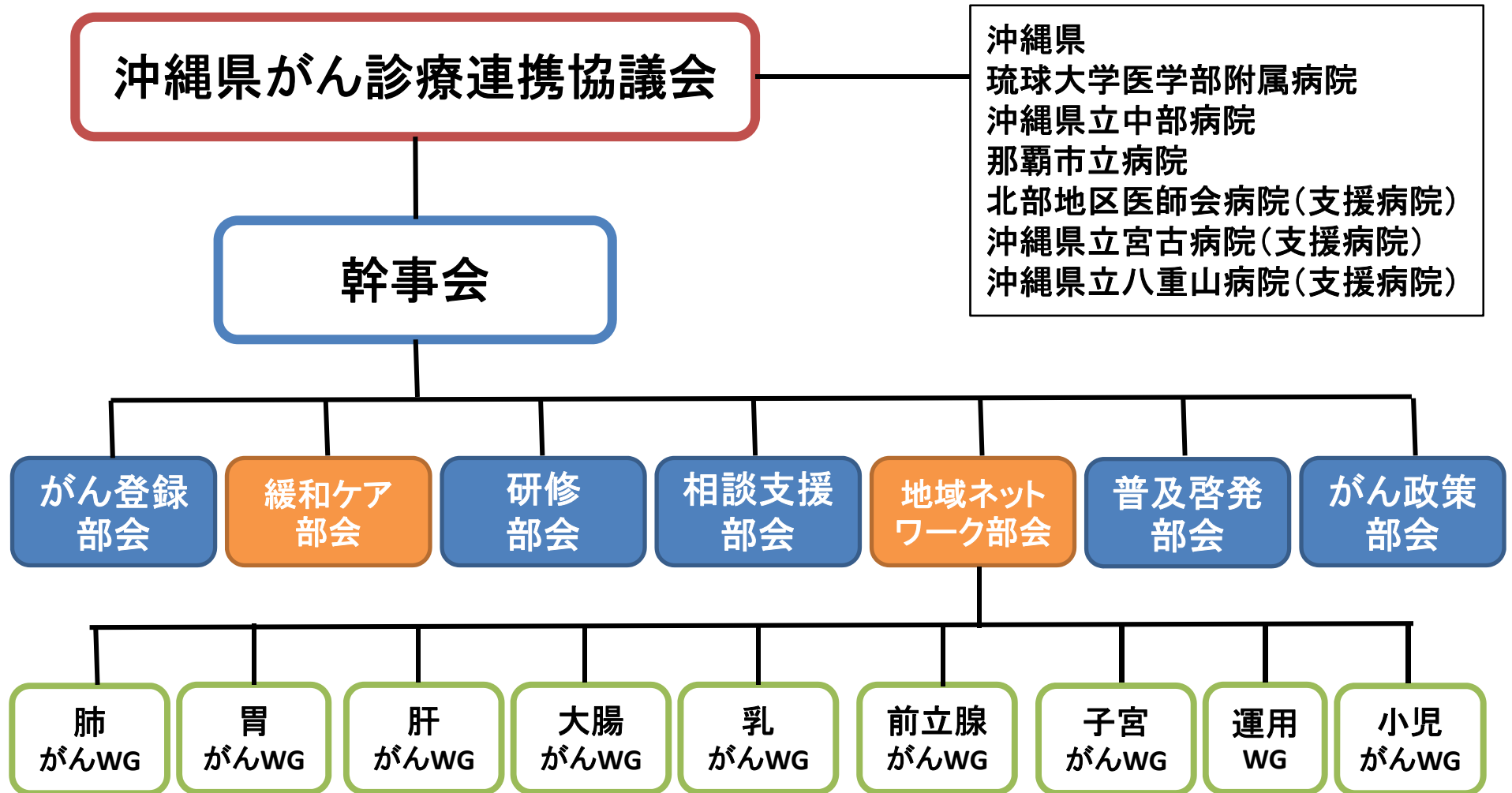
施策10 セカンドオピニオンリストの作成(更新)と共有

県内のがん診療を行っている病院のセカンドオピニオンリストを作成。協議会ホームページで公開している。

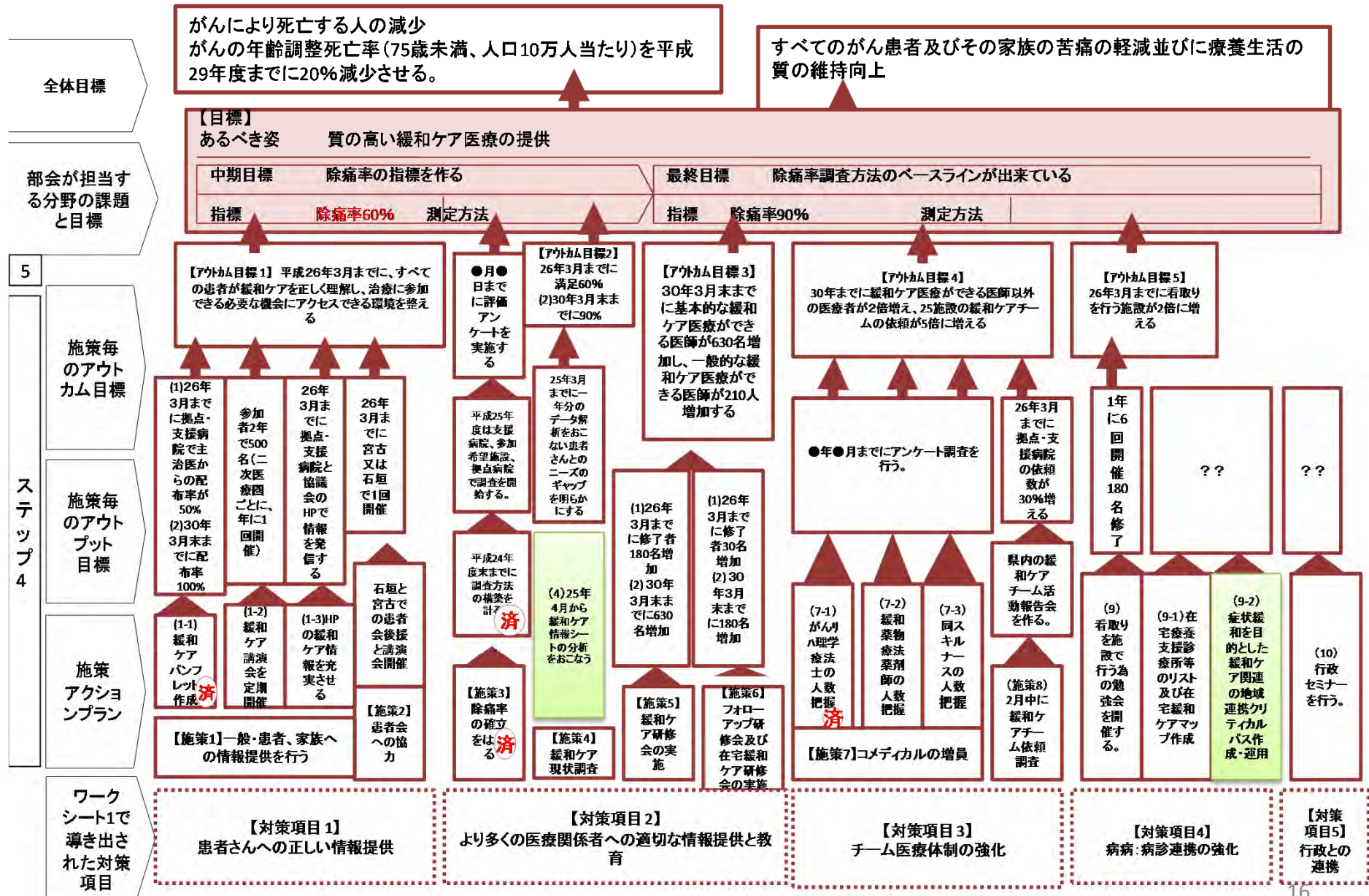
相談支援部会 今後の課題

1. 認知度調査や満足度調査など、利用者からのフィードバックを得るための取り組みや仕組みづくり
2. がん相談員実務者研修会の位置づけの明確化
3. 他部会との共同

沖縄県がん診療連携協議会組織図



平成25年度 緩和ケア部会 活動計画概要



緩和ケア部会

■緩和ケア情報シートの作成と運用

1. 目的

- ①患者さんやご家族が療養先を決定する際の相談支援を十分行うためのツールとして活用すること。
- ②施設間の情報交換・共有がより円滑にすること。

2. 作成

平成22年6月より、沖縄県内の緩和ケア病棟入院時における「緩和ケア情報シート」統一様式を作成。

3. 運用

緩和ケア病棟のある医療機関と紹介元にて運用中。情報提供書に添付。

緩和ケア病棟を希望される患者様へ

氏名: _____ 性別: _____ 生年月日: _____
住所: _____
TEL: _____
これまでかかっていた医療機関および主治医名
[_____]

① 病状について誰からどのように説明されていますか（病名や病状などで

『緩和ケア情報シート』（医師用）緩和ケア病棟を依頼される医師の方へ

患者氏名: _____ 性別: _____
生年月日: _____ 年齢: _____

① 簡単な病歴をお聞かせください

② 診断

1) 原疾患: _____ 原発部位: _____

2) 病歴診断: _____ 確定日: _____ 年 月 日

3) 転移・再発 脳 肺 肝 骨 膵臓 骨（
リンパ節（
その他（
不明・未検査

4) 合併症 悪性腫瘍 せん妄 呼吸困難 脱水 腹水
歩行障害 めまい 認知性浮腫 褥瘡（
その他（

5) 既往歴:

③ これまでの治療

1) 外科的治療 無 有 手術年月日: _____ 術式: _____

2) 放射線治療 無 有 照射部位: _____ 総線量: _____ 時期: _____

3) 化学療法・内分泌療法・免疫療法 無 有 治療薬: _____ 時期: _____

④ 現在の治療

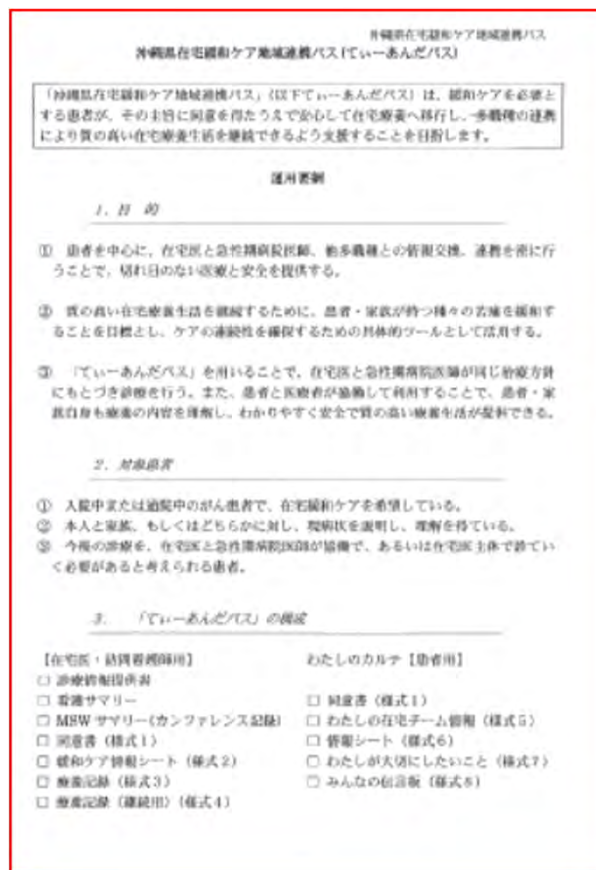
1) 現在の処方内容（点滴内容・薬などふくむ）

緩和ケア部会

■沖縄県在宅緩和ケア地域連携パス(ていーあんだパス)の作成

目的

- ① 緩和ケアを必要とする患者が、その主旨に同意を得たうえで、安心して在宅療養へ移行すること
- ② 多職種連携により質の高い在宅療養生活を継続できるよう支援すること



平成25年度 地域ネットワーク部会 活動計画概要

平成25年2月6日

